

多職種が事例に向き合う”状況”ができる！

マインドマップ  
を活用した

多職種による「見える事例検討会」の研修会を開催します。

## 「見える」ことで、様々な ”困難事例”を解決に導く

見える事例検討会では、見える事例マッピング（見え検マップ）を使い、多職種で事例検討を行い、多職種がチームとなり課題を解決していきます。事例が「見える」ことで、多職種で白熱した議論がすすみ、根底にある課題やニーズが明らかになり、解決の糸口がみつかります。

今回は、そんな「見える事例検討会」の内容や意義・効果についての講義と、「見え検マップ」を用いた事例の検討をワールドカフェのスタイルで行い、「見える事例検討会」をイメージし、多職種連携の効果を感じていただきたいと思えます。是非ともこの機会にご参加ください。



## みんなで作る地域包括ケア 見える事例検討会

日時：平成28年8月3日(水) 19:00～21:00

場所：日南市ふれあい健やかセンター5階会議室

講師：(株)メディラボ研究所 代表取締役 伊東市民病院顧問 八森 淳 先生

エイチ・ツー・オー総合研究所地域連携推進室 チーフインストラクター 大友 路子 先生

主催：日南市在宅医療・介護連携推進室(Sun オリーブ) ☎0987-27-2020 fax0987-27-2479

参加費：無料

# 参加申込書

みんなでつくる地域包括ケア 見える事例検討会(8月3日開催)

FAX:0987-27-2479

Sun オリーブ(日南市在宅医療・介護連携推進室)宛

事業所名	
電話番号	
1氏名( )	職種( )
2氏名( )	職種( )
3氏名( )	職種( )
4氏名( )	職種( )

※ 7月25日(月曜日)までにお申し込みください。

## 脳の中を「見える化」するマインドマップ

「マインドマップ®」とは、イギリスのブレインストーミングツールです。実のある事例検討をしたい、参加者数を増やしたい等、日々の事例検討にお困りではないでしょうか？

八森先生、大友先生は日本におけるマインドマップの第一人者です。両先生からマインドマップの活用法を学び、「見える事例検討会」を実践してみませんか。

(マインドマップは英国 Think Buzan Ltd. の登録商標です。)



### 八森 淳 先生 (はちもり あつし)

青森県出身。自治医科大学卒業。

青森県の公立病院、診療所、2004年から公益社団法人地域医療振興協会にて総合医として勤務した後、文部科学省革新的イノベーション創出プログラム(COI STREAM)にも関わる。



### 大友 路子 先生 (おおとも みちこ)

社会福祉法人恩賜財団神奈川県済生会横浜市六浦地域包括支援センター 社会福祉士・精神保健福祉士